

# 引違い窓 組立・施工・調整要領書

## 組立・施工の前に

この度は、まどまど®std/まどまど®plusをご採用いただきましてありがとうございます。  
この商品を正しく安全に組立・施工していただくため、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

### 安全にお使いいただくために

この組立・施工要領書に示した注意事項は安全に関する重要な内容です。  
人身事故や財産の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。  
内容をよく理解して本文をお読みください。



**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



**お願い** この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。「必ず行っていただく事」を示しています。



**注意**

●商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。



**お願い**

●組立時、樹脂部材はアルミに比べて破損しやすい為、ハンマーで直接叩くと割れる恐れがあります。必ず、当て木を当ててください。  
●木額縁等へ枠部材を取り付ける際、ねじの締めすぎに注意してください。

### 同梱部材・部品一覧表●下表を参照の上部材・部品の有無を確認してください。

スタンダードタイプ (2枚引き・4枚引き)

#### ■枠部材

名称	上枠	下枠	たて枠
姿図			
2枚引込数	1本	1本	2本(L-R各1)
4枚引込数	1本	1本	2本(L-R各1)

#### ■部品パック

名称	クレセント	下枠気密片	外れ止めセット	上部戸当り	ネジパック	塞ぎ板
姿図						
2枚引込数	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	1set	1ヶ
4枚引込数	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1set	2ヶ

■**框部材**※各框にはお使いいただくガラスの専用先付グレチャンがセットされています。

名称	上框	下框	引手框	外召合框	内召合框	突合框
姿図						
2枚引込数	2本	2本	2本(L-R各1)	1本	1本	-
4枚引込数	4本	4本	2本(L-R各1)	2本(L-R各1)	2本(L-R各1)	2本(L-R各1)

プラスチックタイプ (2枚引き・4枚引き)

#### ■枠部材

名称	上枠	下枠	たて枠
姿図			
2枚引込数	1本	1本	2本(L-R各1)
4枚引込数	1本	1本	2本(L-R各1)

#### ■部品パック

名称	クレセント	下枠気密片	外れ止めセット	上部戸当り	ネジパック
姿図					
2枚引込数	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	1set
4枚引込数	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1set

■**框部材**※各框にはお使いいただくガラスの専用先付グレチャンがセットされています。

名称	上框	下框	引手框	外召合框	内召合框	突合框
姿図						
2枚引込数	2本	2本	2本(L-R各1)	1本	1本	-
4枚引込数	4本	4本	2本(L-R各1)	2本(L-R各1)	2本(L-R各1)	2本(L-R各1)

# 障子の組立 (合わせガラスの場合)

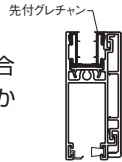
## 組立の前に

1. 梱包箱から部材を取り出し、組上がり状態に並べ、組み合わせ部材の有無を確認してください。→基本図参照  
・部材は室内側、室外側の区別があります。樹脂カバー側が室内側になります。  
・枠部材の上下にご注意ください。枠部材の背面に表示の印が押されています。ご確認の上正しくセットしてください。
2. ガラス寸法は右表の寸法になっています。
3. 先付グレチャンは障子框に嵌め込んであります。
4. ペヤガラス周辺に二次シールが附着している場合は、カッターナイフ等で表面と側面を平らにしてから框の組立を行ってください。

■ガラス寸法(合わせガラス・ペヤガラス共通)

単位:mm

	スタンダードタイプ		プラスタイプ	
	2枚引	4枚引	2枚引	4枚引
窓タイプ	W方向→W/2-16 H方向→H-84	W方向→W/4-16.5 H方向→H-84	W方向→W/2-32 H方向→H-85	W方向→W/4-32 H方向→H-85
テラスタイプ	W方向→W/2-31 H方向→H-106	W方向→W/4-31.5 H方向→H-106	W方向→W/2-32 H方向→H-107	W方向→W/4-32 H方向→H-107



## 組立手順

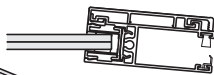
### 1. 上・下框のセット

- 予めクッション材を準備し、ガラスをクッション材の上に水平に置きます。
- 上・下框を先にガラスにセットします。
- 上・下框をセットする位置はガラスの両端から約13mmです。定規などを使用してできるだけ正確に嵌め込んでください。

#### ポイント↓

- ガラスは端部から、框を少し斜めにして嵌め込みます。
- 嵌め込みがきつい場合は木片等で軽くたたいてセットします。

框を少し斜めにする



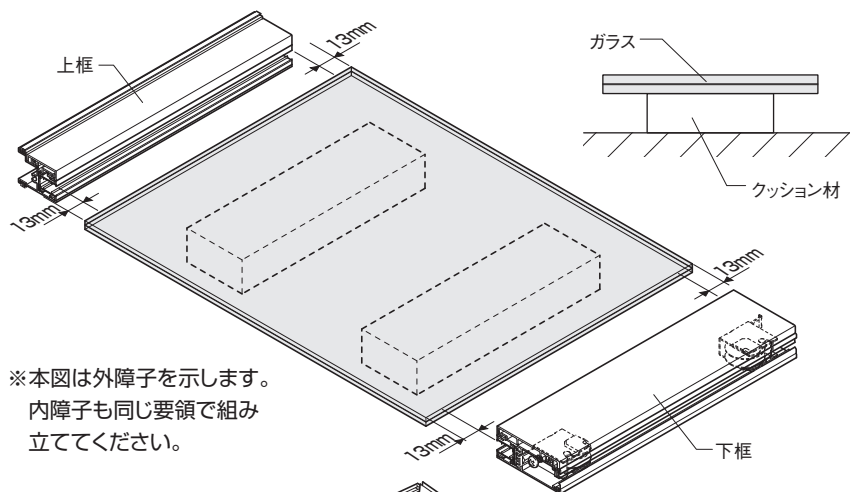
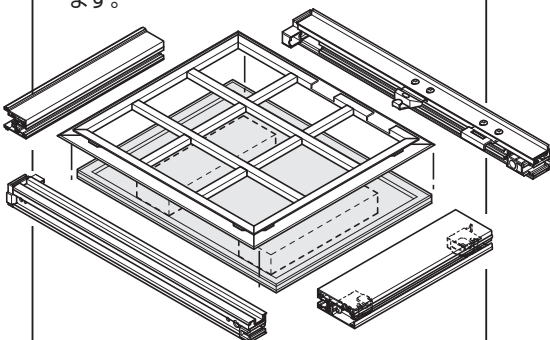
木片等で軽くたたく

### 2. たて框(引手框・召合せ框)のセット

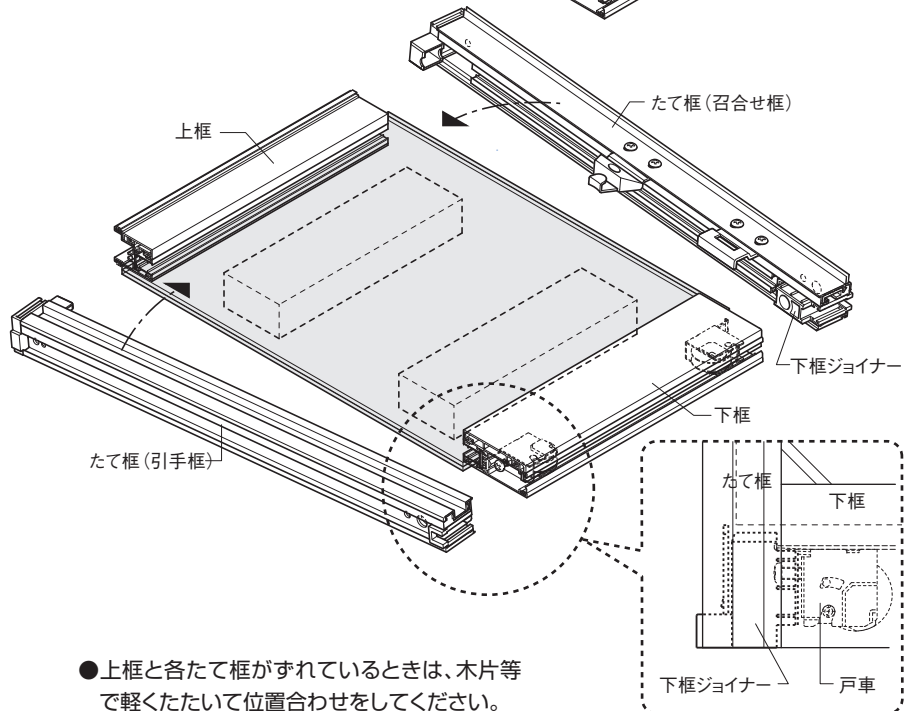
- たて框の下框ジョイナーを下框の戸車部分に嵌め込み、そのまま回転するようにして、ガラスおよび上框に押し込んでください。

#### 組子付障子の場合

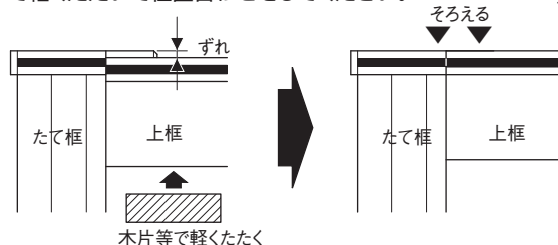
- 組子付障子の場合は、予め組子をガラスの上に置き、ガラスと一緒に各框を嵌め込みます。



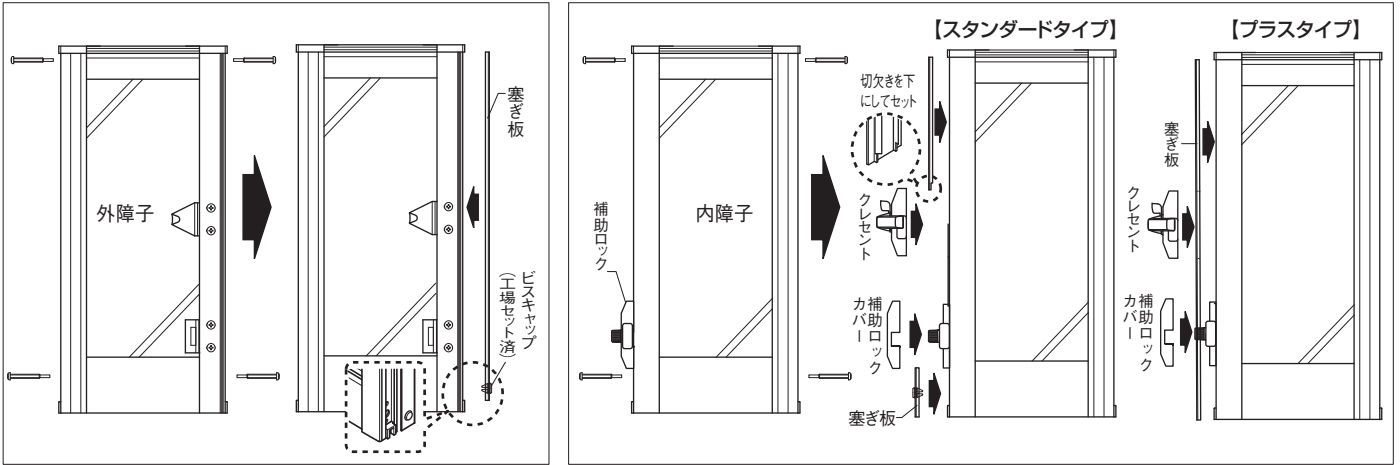
※本図は外障子を示します。内障子も同じ要領で組み立ててください。



- 上框と各たて框がずれているときは、木片等で軽くたたいて位置合わせをしてください。

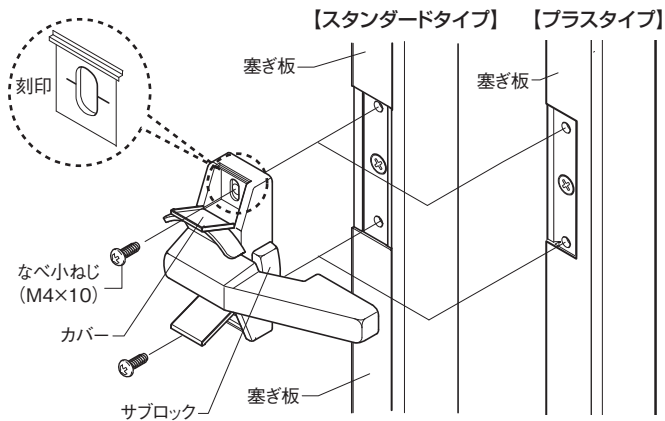


### 3. 框部材の固定



#### クレセントの取付

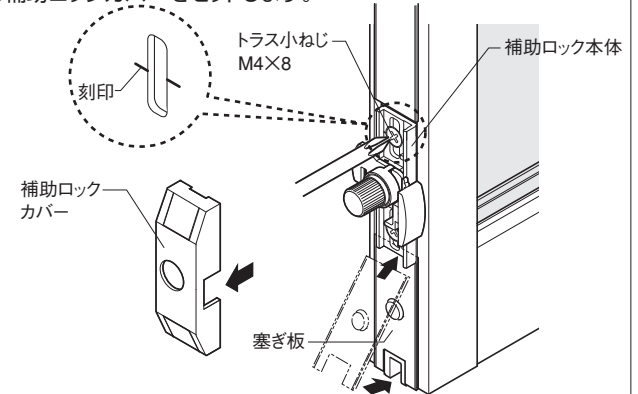
- 塞ぎ板を嵌め込んでから→クレセントの順で取り付けます。
- サブロック側が室内側になるように取り付けます。
- カバーを開き、なべ小ねじ (M4×10) で取り付けます。この時、スロット穴のセンター (刻印有) で固定してください。



#### 補助ロックの取付【標準タイプ】

※プラスタイプの下記塞ぎ板は上下通しの1体型となります。

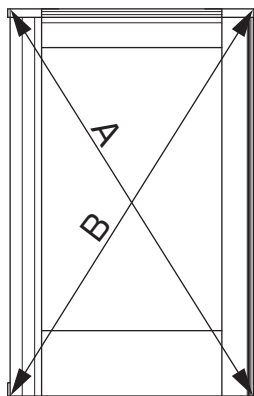
- 養生テープを外します。
- 補助ロックカバーを取り外します。
- 仮止めしてある固定ねじ (トラス小ねじ M4×8) を緩めて、下側の塞ぎ板を差し込んでから、再度固定してください。この時、スロット穴のセンター (刻印有) で固定してください。
- 補助ロックカバーをセットします。



### 4. 対角・曲がりの確認

- 組立後、障子の対角・曲がりを確認してください。

❗  $A \cdot B \leq 1 \text{ mm}$  以内で調整願います。



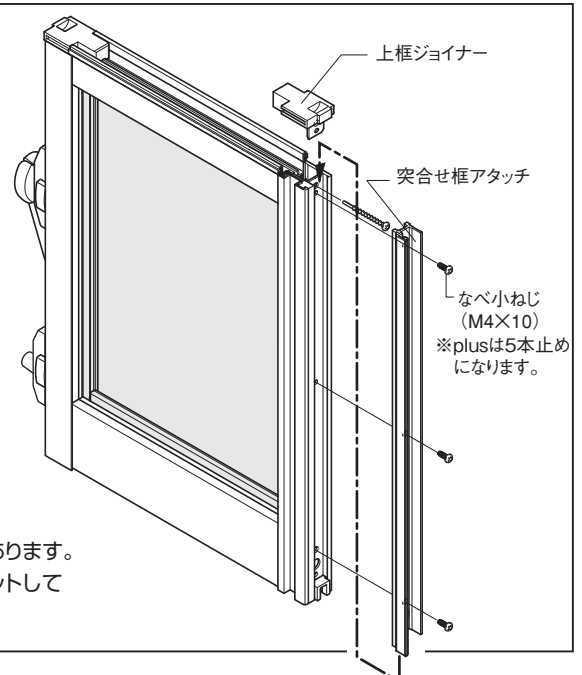
- 対角が同一でない場合は、木片などで軽くたたいて調整してください。

### 5. 4枚引き障子の場合

突合せ部が異なります。他は2枚引きの組立に準じます。

- 障子を組立後、上框ジョイナーを一旦外し、突合せ框アタッチを引手框上部から差し込み、ねじ止めします。
  - アタッチ取付後、上框ジョイナーを元の位置にセットして組立を完了させます。
- ※本図は左内障子を示します。右内障子も同様に組み立ててください。

※突合せ框アタッチは内外があります。基本図を参照して正しくセットしてください。

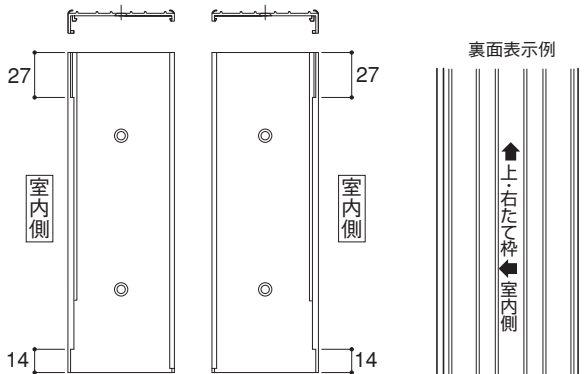


# 施工要領(枠の取付・障子の建て込み)

## ① たて枠の取付

※枠材の上下・左右にご注意ください。(枠材裏面に表示があります。ご確認ください。)

※プラスチックのたて枠取付ねじは2列止めになります。



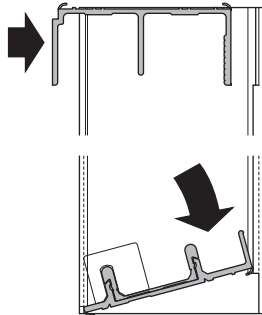
●たて枠を木額縁にセットし、 $\Phi 3.8 \times 20$ 皿木ねじで固定します。

## ② 上・下枠の取付

●上枠をたて枠間に差し込み、 $\Phi 3.8 \times 20$ 皿木ねじで固定します。

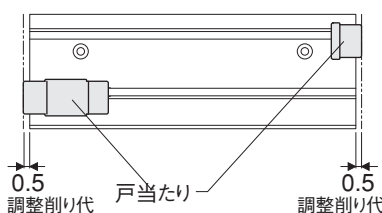
※プラスチックのたて枠取付ねじは2列止めになります。(枠材裏面に表示があります。)

●下枠をたて枠間に差し込み、室内側に回転させるようにしてセットします。



### 下枠が入りにくい時は

※下枠はアルミ材材と一体化されているため、他の部材(樹脂)のように“しなり”がないため、たて枠に当たり、入れにくい場合があります。下図のように戸当たりを削り、調整してください。



## ③ たて枠アタッチメントの取付

●たて枠アタッチメントを ①②③ の手順で左右のたて枠に取り付けます。

## ④ 気密片の取付

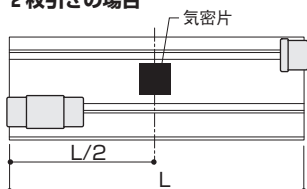
●気密片裏面の離形紙をはがし、下枠に貼り付けます。貼付け位置は召合框の下部にあたる位置です。

方向を正しく貼り付けてください。(右図参照)

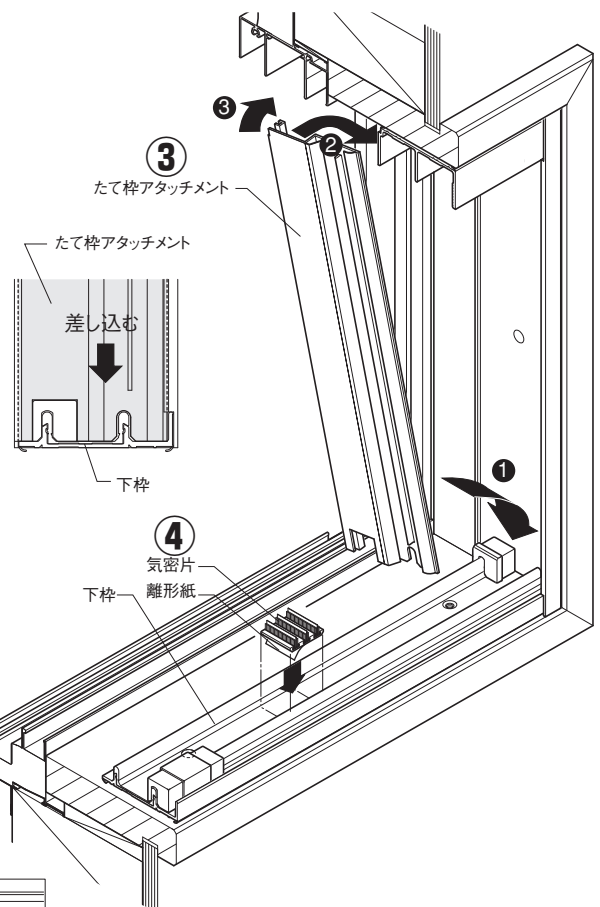
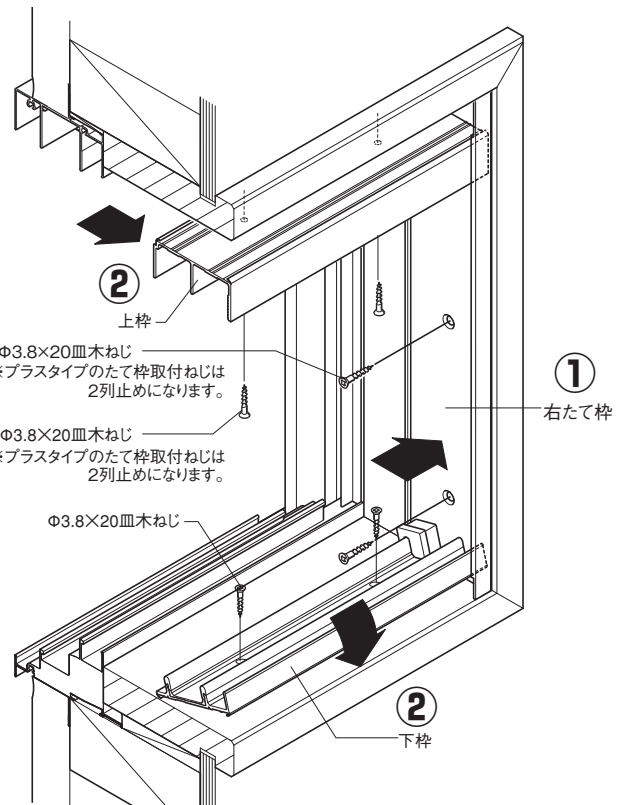
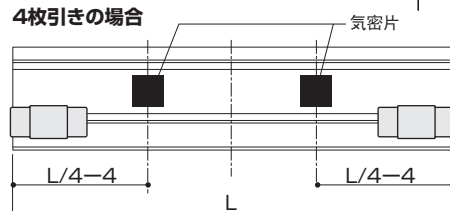
2枚引きの場合は下枠の中央部。

4枚引きの場合は下図を参照の上、算出してください。

### 2枚引きの場合

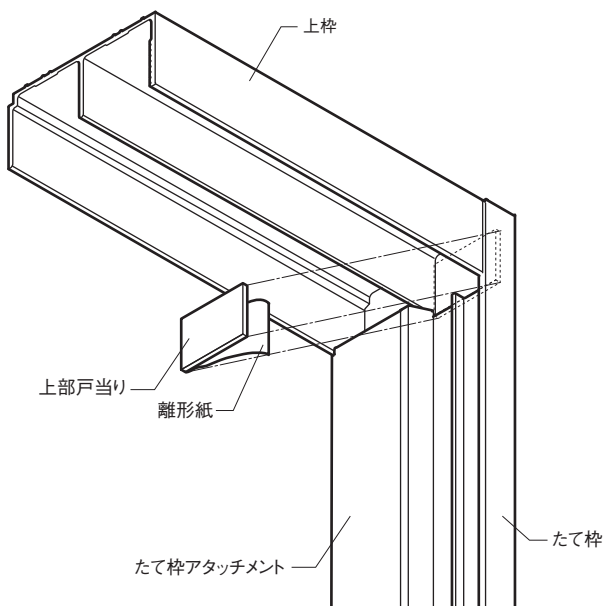


### 4枚引きの場合



## 上部戸当りの取付

- 左右のたて枠上部に上部戸当りを障子が入る側に取り付けます。
- 部品裏面の離形紙をはがし、たて枠アタッチメントの小口に合わせ貼り付けます。



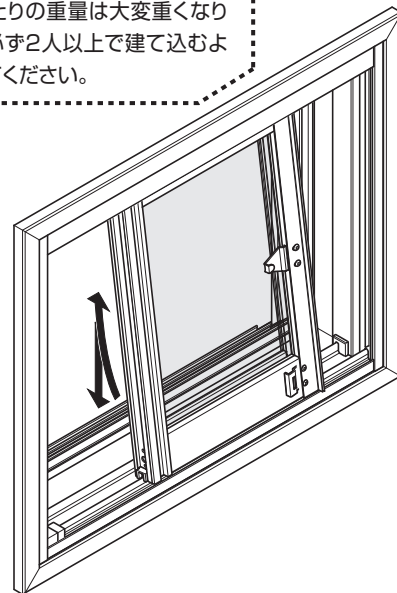
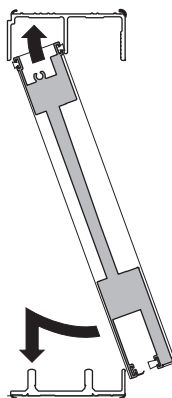
## 障子の建て込み

- 障子を室内側からけんどん式で建て込みます。
- 外障子、次に内障子の順です。



**注意**

テラスタイプの障子になりますと1枚当たりの重量は大変重くなります。必ず2人以上で建て込むようにしてください。



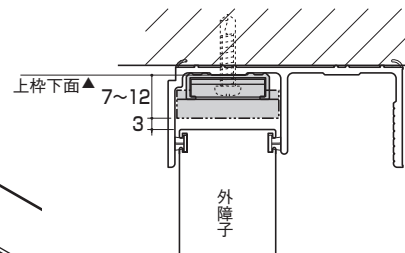
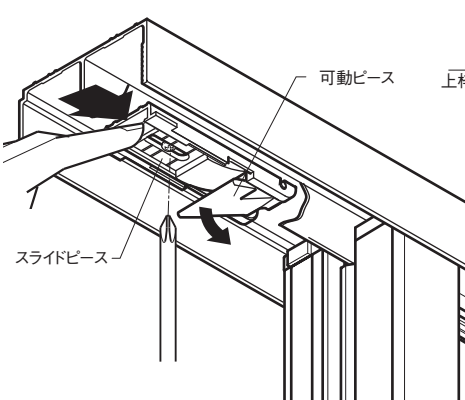
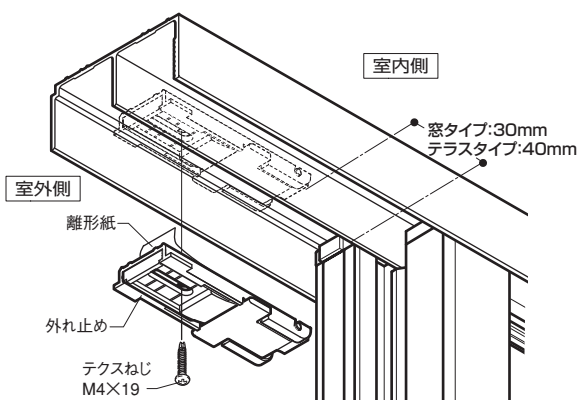
## 外れ止めの取付と調整

### 1.外れ止めの取付

- 外れ止めは内外障子を建込み、調整後取り付けます。
- 外れ止め裏面の離形紙をはがし、外障子側の上枠に貼り付け、付属のテクスねじで仮止めします。

### 2.外れ止めの高さ調整

- 上下の調整代は5mmです。 最小：7mm 最大：12mm (上枠下面より)
- スライドピースを矢印の方向に動かし、障子上端との隙間を**3mm程度**に調整します。
- 調整後テクスねじを締めて固定します。
- 取付後に障子を外す場合は、外れ止めを外すか、可動ピースを上げた状態で障子を外してください。



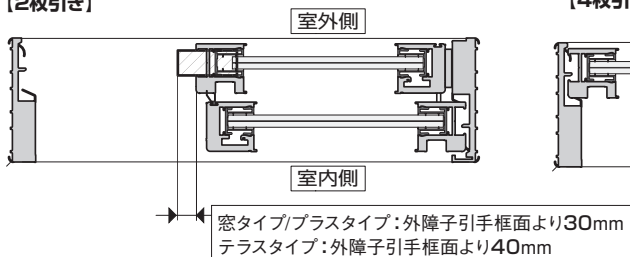
**注意**

上框補助部品を取り付けた場合、はずれ止め部品は取付きません。

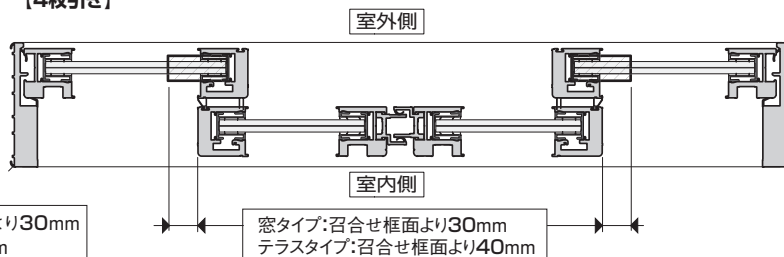
### 外れ止めの取付位置

- 外れ止めは2枚引きは1ヶ所、4枚引きは2ヶ所取り付けます。

#### 【2枚引き】



#### 【4枚引き】





## 建込み調整

### 戸車の調整

【外障子/引手框・召合框 内障子/引手框・召合框】

- 召合框下部のビスキャップを外します。
  - φ8穴の中に調整ねじがあります。このねじを右に回すと障子は上がり、左に回すと下がります。
  - 調整後は、ビスキャップを取り付けてください。
- ※引手框にはビスキャップはありません。+ドライバーを差し込み、そのまま調整してください。

タイプ	調整代
窓タイプ	+3.5mm
テラスタイプ	+5.0mm

- 下記のサイズとガラス構成に該当する場合は、戸車調整部保護のため、障子を持ち上げて戸車の調整を行います。

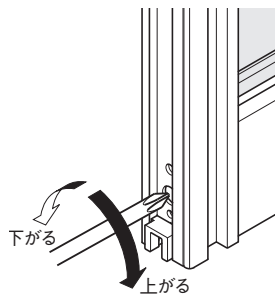
#### ■窓タイプ

H	W	1701~2100	2101~2400
1201~1400		5+8	5+5以上

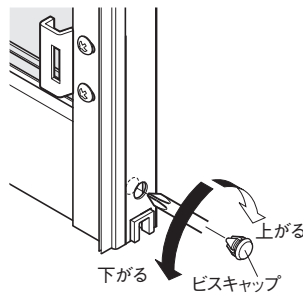
#### ■テラスタイプ

H	W	1901~2100	2101~2400	2401~2700	2701~3000
1901~2100		—	—	5+8	5+8
2101~2300		—	5+8	5+8	5+8
2301~2500		5+8	5+8	5+5以上	5+5以上

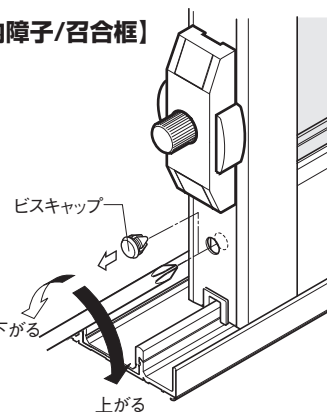
【外障子・内障子/引手框】



【外障子/召合框】



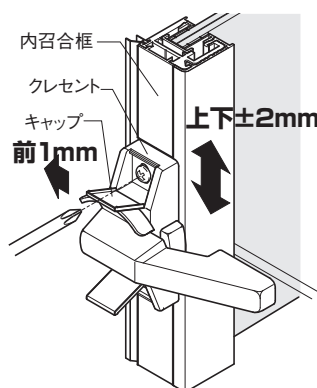
【内障子/召合框】



### クレセント及びクレセント受けの調整

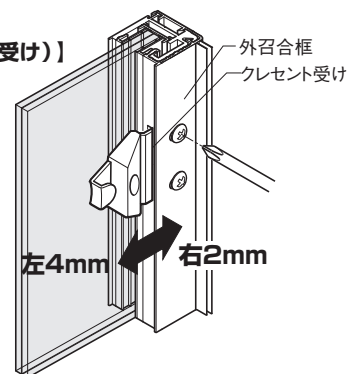
【上下方向の調整(クレセント)】

- クレセントのハンドルを中間位置まで回します。
- クレセントの上下にキャップの溝があります。溝に爪をかけ持ち上げてください。
- ねじをゆるめ、上下調整してください。調整後は、しっかりねじを締め付けてください。
- キャップを元に戻します。



【左右方向の調整(クレセント受け)】

- ねじをゆるめ、左右に移動してください。
- 調整後はしっかりねじを締め付けてください。

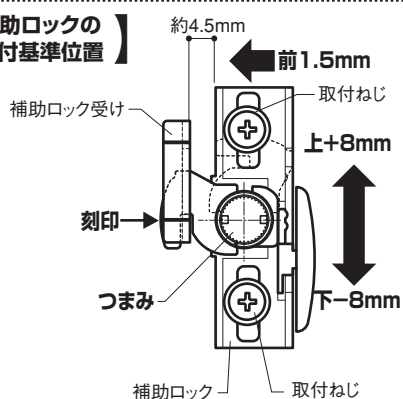


### 補助ロックの調整

【上下方向の調整(補助ロック)】

- 内召合框下部の補助ロックカバーをマイナスドライバー等で外します。
- 上下の取付ねじを緩め、上下・前に調整してください。

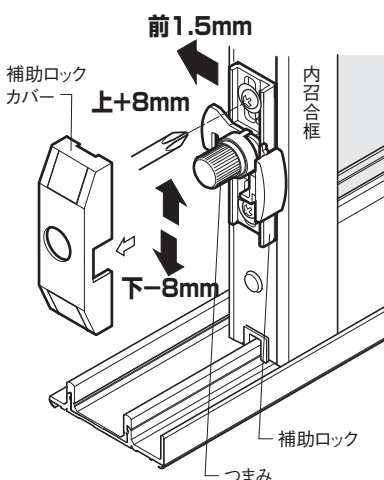
#### 【補助ロックの取付基準位置】



- 補助ロックのつまみ中心と補助ロック受けの刻印が同じ位置になるように調整して、掛かり具合を確認します。
- 調整後、鎌錠が補助ロック受けの角穴に十分に掛かることを確認してください。

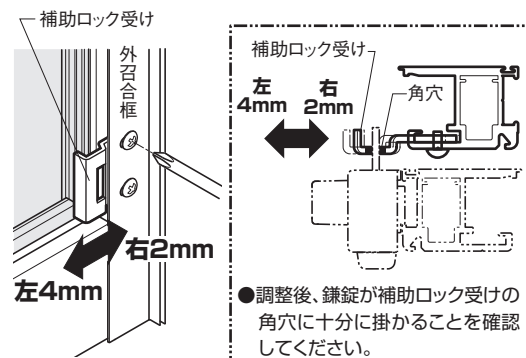
- 調整後は、しっかりねじを締め付けてから補助ロックカバーを取り付けてください。

※本部品は樹脂製品なので締め過ぎに注意してください。



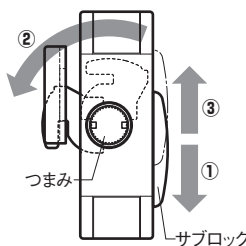
【左右方向の調整(補助ロック受け)】

- 外召合框下部についている補助ロック受けのねじをゆるめ、左右に移動してください。
- 調整後はしっかりねじを締め付けてください。



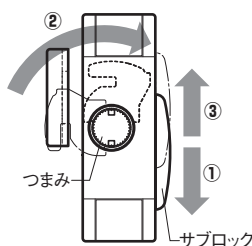
#### 施錠手順

- ①サブロックを下げるとロックが解除されます。
- ②つまみを左に回し施錠します。
- ③サブロックを上げてつまみ(鎌錠)が回らないよう、ロックします。



#### 開錠手順

- ①サブロックを下げて、ロックを解除します。
- ②つまみを右に回し開錠します。
- ③サブロックを上げて、つまみ(鎌錠)が回らないよう、ロックします。



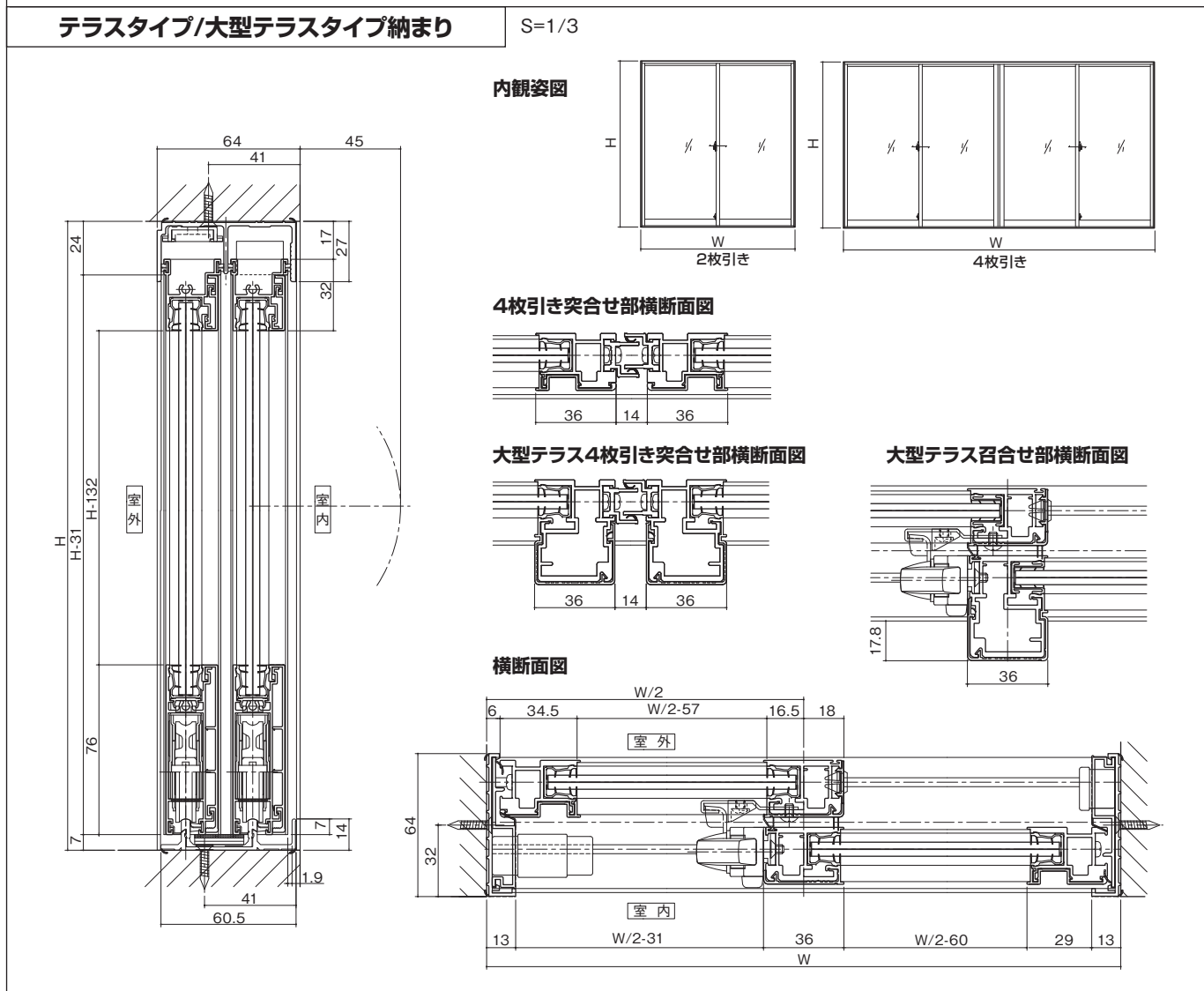
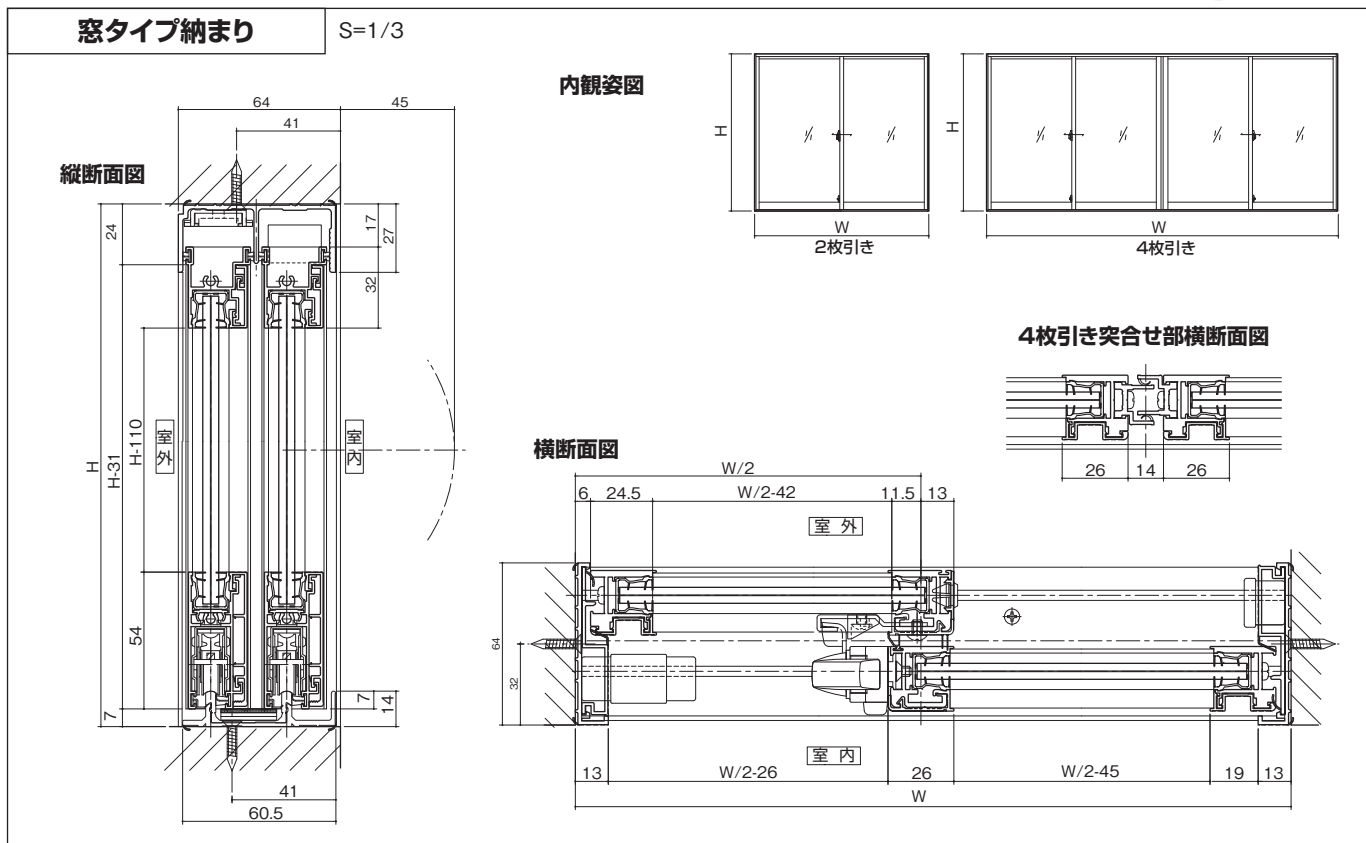
※本説明は右勝手を示しています。左勝手の場合は回転方向が逆になります。

### 外れ止めの調整

- 5P「外れ止めの取付と調整」を参照ください。

# 基本図【スタンダードタイプ】

額縁付きの場合は「額縁施工要領書」をご覧ください。



# 基本図【プラスチック】

